

令和2年度 府立宮津天橋高等学校宮津学舎 学校経営計画（スクールマネジメントプラン）（実施段階）

学校経営方針(中期経営目標)	前年度の成果と課題	本年度学校経営の重点(短期経営目標)
<p>我が国や地域の発展に貢献する「社会的使命感と青雲の志を持つ人」を育成する。</p>		<p>自立する個性を目指し、智力・人間性・体力が高度に調和した生徒を育成する。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 探究活動を通して一人ひとりの優れた能力・適性を伸張させ、希望進路の実現に結びつく確かな学力を養成する。 2 部活動や各種体験活動を通して能力と可能性を広げるとともに、自主自律の精神と社会的使命感を育む。 3 命と人権を尊重する態度を育てる教育活動を充実させるとともに安心・安全を保障する学校づくりを進める。 4 教職員の資質向上と教育環境の整備を進め、教育課題に組織的に対応する体制を充実させる。 5 家庭・地域社会と一層の連携を図り、チームとして教育活動を充実させる。 6 学舎制の高校として宮津高校2・3年生との一体感を醸成するとともに、加悦谷高校・加悦谷学舎との連携に係る取組を積極的に推進する。 <p>○育てる人物像</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自主自律の精神を持って学び続ける人 ・個性や能力を伸ばし夢に挑戦する人 ・人や社会とつながり未来を創造する人

評価領域	重点目標	具体的方策	評価			成果と課題
学校経営 組織運営	<p>○教職員の資質向上と教育環境の整備を進め、教育課題に組織的に対応する体制を充実させる。</p> <p>○学舎制の高校として宮津高校2・3年生との一体感を醸成するとともに、加悦谷高校・加悦谷学舎との連携に係る取組を積極的に推進する。</p>	<p>○ICT機器の有効活用、テーマ性を持った研究授業をはじめとして、各教科での授業改善を推進するとともに各種研修の受講等を通して教職員の資質向上に係る取組を充実させる。</p>	A			<p>○全HR教室にプロジェクタが設置されたこともあり、教職員のICT機器活用による授業改善とその研究は急速に進んだ。</p> <p>○年度当初から新型コロナウイルスに対する感染予防対策やそれに伴う行事の見直し等を行い、全教職員体制で実施することができたが、業務改善の推進は一部を実現するにとどまった。</p> <p>○宮津高校2・3年生とは、部活動や学校行事などを通して一体感を高めることができた。一方、加悦谷高校・加悦谷学舎とは部活動の合同練習は夏以降にスタートしたが、その他の取組はコロナ禍により実現できなかった。</p>
		<p>○学校目標の実現と各種事業の成果と課題を踏まえながら業務改善を推進する。</p>	B		B	
		<p>○学校祭をはじめとした各種学校行事における取組等を通して、学年をこえた交流を図るとともに、部活動の合同練習や遠隔教育システムの活用等により、学舎制のメリットを最大限生かす教育活動を行う。</p>	C	C		
学習指導 進路指導	<p>○探究活動を通して一人ひとりの優れた能力・適性を伸張させ、希望進路の実現に結びつく確かな学力を養成する。</p>	<p>○教育活動全般に探究的な要素を取り入れるとともに、思考の基盤となる基礎学力の充実を図る。</p>	B			<p>○各教科や総合的な探究の時間だけでなく、フレッシュマンセミナーなどの学校行事にも探究的な要素を取り入れ、各種の制限がある中でもその内容を充実させることができた。</p> <p>○国・府などからの各種情報を収集し、その成果を教育活動に反映させることができた。</p> <p>○入学後すぐに臨時休業等があったが、学年団を中心に細やかな指導を行い、落ち着いた生活と学びあえる集団を形成している。</p>
		<p>○大学入学共通テストや新学習指導要領に係る情報を積極的に収集し、先を見据えた教育活動を推進する。</p>	B		B	
		<p>○一人ひとりの生徒の学習や学力の状況を的確に把握し、教職員が情報共有しながら組織的に指導を行い、希望進路の実現を図る。</p>	B			
生徒指導 特別活動	<p>○部活動や各種体験活動を通して能力と可能性を広げるとともに、自主自律の精神と社会的使命感を育む。</p>	<p>○「自主自立の日」の有意義な活用を含め、生徒が自律的な生活を送ることができる指導を充実させる。</p>	B			<p>○自ら考えて行動できる「自立する個性」の育成に向け、更なる指導の充実が必要である。</p> <p>○部活動は多くの大会が中止や規模縮小を余儀なくされ、ボランティア活動も制約が多く、貴重な成長の場が失われた1年であった。次年度以降の活動の場の確保は大きな課題である。</p>
		<p>○ボランティアやインターンシップなどを推奨し、社会の一員としての自己を自覚させるとともに、交通マナーなどの規範意識の向上に向けた取組を充実させる。</p>		B	B	
健康安全	<p>○命と人権を尊重する態度を育てる教育活動を充実させるとともに安心・安全を保障する学校づくりを進める。</p>	<p>○生徒に対する時宜に応じた面談や声かけ等を行い、思春期の心の揺れを受けとめ、悩みや躓きに対する情報を共有する中で課題克服の援助を行う。</p>	B			<p>○各種講演会等を通して自己と他者の人権尊重について多面的に考えさせることができた。</p> <p>○担任や部活動顧問等によるこまめな声かけや学校全体で相談しやすい雰囲気づくりを行い、さまざまな事象に早期に対応することができる体制を構築した。</p>
		<p>○教職員の危機管理意識を高め、さまざまな事象に即座に対応できる体制を構築する。</p>		B		
家庭・地域 社会連携	<p>○家庭・地域社会と一層の連携を図り、チームとして教育活動を充実させる。</p>	<p>○外部機関や地域の教育資源を積極的に活用し、キャリア教育の充実と郷土愛の醸成を図る。</p>	B			<p>○PTA活動や外部機関との連携などに制約が多かったが、その中での実施方法を模索し、一部を実現することができた。</p> <p>○情報発信に努めたが、十分な成果があったとは言えず、次年度に向けての大きな課題となった。</p>
		<p>○積極的な情報発信に努め、本校教育への理解と協力を求める。</p>		C		

**学校関係者
評価委員会
による評価**

- ・臨時休業期間中に子供たちは不安を抱えており、学校に行けることがいかに大切かが感じられた。それに関連しZoomを利用したSHRは生徒にとっては貴重なものであった。
- ・学舎制に伴い、生徒の一体感は育っているかが気になるが、部活動が全学年一緒に活動しており、また普段の生活でも一体化が進んでいるようであり、良かった。宮津高校生と宮津天橋高校生の繋がりは自然と深められると思うが、宮津天橋高校生同志の繋がりは生活を共にすることで得られることが多いので、今年度実現できなかった行事等で絆を深めてもらいたい。
- ・授業を見学したが、学ぶ意欲を引き出す指導が行われており、又教員が楽しそうに授業を進めていたのが良かった。
- ・新制服になりどこの学校かわからないという声が上がっている。新制服が認知されるような取組を行ってほしい。
- ・制服に女子用のスラックスを導入したと聞いたが、時代に応じた良い措置だと思う。
- ・宮津駅方面は向かう生徒の自転車通学マナーが悪い。生徒会を中心にマナー向上の取組をお願いしたい。
- ・交通ルールが守れていない時と生徒が自覚しているのに改善できていないアンケート結果は気になる。
- ・インターンシップは生徒たちの将来展望を広げる意味で良い取組である。コロナ禍でもできるだけ実施してほしい。
- ・学校が作成した「学びのガイドライン」は非常にわかりやすい。これを見れば、進路希望に応じて適切な選択科目を選ぶことができる。
- ・学校の移行期の大切な1年目にもかかわらず、学校の臨時休業や部活動・ボランティア活動等で制約が多く、自分自身のコントロールが大変だったと思うが、学校評価アンケートの結果からは、コロナ禍でも物事を肯定的に考えている生徒が多く、高校生たちのこれからの期待したい。
- ・コロナ禍の中で、学校は工夫してよくやっていただいた。
- ・美書展や学校祭を生で見られなかったのは残念だったが、早く元通りに開催できるように祈念している。
- ・学校評価アンケートの結果について、いくつか肯定的な結果ではなかったと思う。このようなご時世なので仕方がないかも知れないが、学校評価がボディーブローのようにじわじわと下がっていくと感じている。
- ・アンケートに上がらなくても苦しんでいる子もいると思うので、なるべく多く声をかけてやってほしい。
- ・コロナ禍において、「地域コミュニティ」「学校コミュニティ」がこれほど難しい局面となり、宮津高校と宮津天橋高校宮津学舎・加悦谷学舎との並行運営等々、学校経営が大変であったと受けとめている。しかしながら、コロナ禍とつきあっていかなければならないと考えた場合、3密を避けた「コミュニティ」のあり方とは何か、学校運営のあり方がどのように変わらなければならないのか、令和3年度以降難しい局面が続くが、生徒にとっては1年1年が大切な時間なので、よろしく指導をお願いしたい。

<p>次年度への改善の方向性</p>	<p>【学校経営・組織運営】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生徒の学力向上と教職員の授業改善・業務改善につながるICT機器の有効活用について、さらなる研究を推進する。 ・令和3年度の宮津高校全日制最終年にあたり、加悦谷高校との連携や宮津天橋高校への移行を円滑に推進するための取組を充実させる。 <p>【学習指導・進路指導】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今年度の成果と課題を踏まえながら、新学習指導要領の先行実施や大学入学共通テスト等に対応できる教育を推進するとともにその基盤となる学力を醸成する。 ・これまでの探究活動の成果と課題を踏まえながら、2年次の「総合的な探究の時間」の単位増加（1単位→2単位）を有効に活用し、その活動を充実させる。 <p>【生徒指導・特別活動】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・さまざまな問題について各種講演等で啓蒙活動を実施するとともにあらゆる教育活動を通して「自立する個性」の育成を念頭に置き、自ら考え行動できる生徒を育成する。 ・規範意識の向上に向けた取組を一層充実させる。 <p>【健康安全】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・時宜に応じた面談や声かけ、家庭や関係機関との緊密な連携を図りながら思春期の心の揺れを受けとめ、関係者で情報を共有しながら対応できる体制の更なる充実を図る。 ・新型コロナウイルス感染症に係る最新情報を常に入手し、安心・安全な学校生活を送ることができるよう各種事業における対策を検討する。 <p>【家庭・地域・社会連携】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各種説明会やホームページ等における本校教育に係る魅力発信や校内外への情報伝達について有効な手段・方法等の研究を推進する。 ・コロナ禍においてもキャリア教育の充実、家庭や地域の各種機関等との連携方法を模索し、幅広い学力と郷土愛の醸成に努める。
---------------------------	--